

2006年4月4日

各位

新日鉱ホールディングス株式会社

当社社長の新入社員への訓示について

当社社長 清水康行は、本日、グループ新入社員に対して訓示を行いました。要旨は次のとおりです。

本年4月1日をもって、金属系3社が新たな統合会社「日鉱金属」として生まれ変わり、当グループは、石油事業のジャパンエナジーと金属事業の日鉱金属を2大中核事業会社とする体制となった。皆さん方は、この新体制での第一期生に当たる。また、当グループは、創業新世紀101年目を迎え、次なる飛躍・発展への第一歩を踏み出した。皆さんには、その原動力としての役割を強く期待している。

当グループが100年の軌跡を歩むことができた理由として、

第一に、我々の事業は、ガソリンなどの石油製品、銅などの非鉄金属といった経済社会発展のために不可欠な基礎素材を供給し続ける使命を担ってきたこと

第二に、いかなる困難・危機の中にあっても、自主独立の精神を持ち続け、事の本質を直視して、その解決に努めてきたこと

第三に、常日頃から、地域社会などのコミュニティや社員に対し、真摯に相對し、共存共栄を図ってきたこと

の三点が挙げられる。

我々の先達が営々として築いてこられたこれらの良き伝統は、組織としてのアイデンティティー、DNAとして皆さんにも是非受け継いでいただきたい。

今、世界は、中国・インドをはじめとする BRICs 諸国の爆発的な経済発展によってパラダイムシフトが起きている。当グループとしても、資源の確保は言うまでもなく、マーケットの面でも、会社経営の面でも国際化の真っ只中にある。

リスクとリターン、また全地球的な環境への配慮といったことに思いを巡らせつつ、高い視点で物事を考えていただきたい。

以上

(参考)新日鉱グループ中核事業会社2006年4月1日付入社人数

		ジャパンエナジー	日鉱金属
大学院・大学卒社員		24(21)	29(28)
(内訳)	事務系	13(14)	12(13)
	技術系	11(7)	17(15)
高校卒社員		14(13)	21(18)
計		38(34)	50(46)

()内は昨年度実績。

(日鉱金属の昨年度実績は、(旧)日鉱金属、日鉱マテリアルズおよび日鉱金属加工の合計)

昨年度の日鉱金属大学院・大学卒社員技術系には工専卒社員3名を含む。

【お問合せ先】新日鉱ホールディングス(株)IR・広報担当 高元,花島 TEL:03(5573)5123